

2018年4月20日

ScandiNova Systems AB

スカンジノバ・システムズ株式会社

スカンジノバ・システムズ(スウェーデン)の日本法人を設立しました

ScandiNova Systems AB(スカンジノバ・システムズ社/スウェーデン)は、かねてより準備を進めて参りましたが、日本法人の登記が完了し、スカンジノバ・システムズ株式会社(東京)の業務を4月1日より開始しました。

スウェーデンのアップサラに拠点を置く ScandiNova Systems AB は、パルス電源の開発/製造を手掛け、販売においては各国に置く代理店経由にて進めております。日本国内では、2006年よりセティ株式会社と代理店契約を結び、営業拠点としておりました。

しかしながら、科学技術分野では多くのケースで日本が世界を先導しており、このような特化した市場においては、現地に深く根ざした営業活動と最先端の研究を共同で進めていくことが不可欠であるとの考えに至りました。このような観点により、日本国内に子会社を設立することを決め、東京港区にオフィスを開設しました

ScandiNova Systems AB の創始者であり副社長である、ミカエル・リンドホルムは、スカンジノバ・システムズ株式会社の代表取締役社長に就任し、スウェーデンと日本の両方の会社を総括します。

また、スカンジノバ・システムズ株式会社の執行役として、湯城磨を CEO(代表執行役)に任命しました。湯城は、昨年 2017 年 11 月に ScandiNova Systems AB に着任。科学技術、特に加速器分野のクライストロンを使ったシステムでは 20 年余の経験を有し、このノウハウと遂行能力により市場を開拓して参ります。

スカンジノバ・システムズの半導体スイッチを用いたパルス電源は、科学技術分野のみならず、医療そして一般産業分野に至る様々な応用が期待されています。スカンジノバ・システムズの最先端の技術により、装置は小型化が可能となり、安定動作が実現します。このような高いパフォーマンスのシステムを日本向けに提供していきます。

スカンジノバ・システムズ株式会社 代表取締役社長 ミカエル・リンドホルムのコメント

「日本法人を設立できたことを、非常に誇りに思います。日本の皆様は私たちの製品から多く価値を見出していただけると信じています。まずは、少人数からのスタートとなりますが、私たちの製品コンセプトの元、これまで培った経験とノウハウは様々な場面でお客様の問題解決へとつなげられるものと思います。

スカンジノバ・システムズ株式会社 代表執行役(CEO) 湯城磨のコメント

「スカンジノバ・システムズ株式会社にて業務を開始できたことはこの上もない喜びであります。スカンジノバ・システムズが有する素晴らしいパルスの技術は、日本の加速器市場、医療分野そして一般産業分野に受け入れられるものと確信しています。」

スカンジノバ・システムズ株式会社
 〒106-0032 東京都港区六本木一丁目 10 番 3-901
 (スウェーデン大使館内)



最寄駅

東京メトロ 日比谷線 神谷町駅 徒歩 6-7 分
 東京メトロ 南北線 六本木一丁目駅 徒歩 6-7 分

お問い合わせ先

ScandiNova Systems AB 渉外担当 : Erik Sundström(エリック サンドストローム)
 電話:+46 70 395 33 95
erik.sundstrom@scandinovasystems.com

ScandiNova Systems AB につきまして

ScandiNova System AB は、独自開発したパルス技術により、大高出力のパルス電源の開発/生産において世界をリードする屈指のメーカーに成長しました。私たちの製品ラインナップには、半導体スイッチを搭載したパルス変調器、パルス発生器、そしてターンキーとしてマイクロ波システムの取りまとめまで実施いたします。

応用例としましては、貨物検査、非破壊検査、工業用 X 線用途、滅菌などの工業分野に限らず、様々な加速器への展開そして放射線治療などに重要な役割を果たしています。

私たちの生産/出荷の 95%以上はヨーロッパ、アジア、北米を中心とした 33 カ国のお客様向けに輸出されています。

ScandiNova Systems AB は、Scanditronix(スカンジトロニクス社/スウェーデン)が前身にあり、ここで加速器システムのノウハウを積んだ優秀な人材により、2001 年に ScandiNova Systems AB が設立されました。スウェーデンのウプサラに本社を置き、現在の従業員数は 65 名を擁しています。